

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E132F003	社会科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Social Studies (Junior High School))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 平田 利文 E-mail hirata@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	中学校社会科に焦点を当て、社会科教育学の基礎理論に関する専門的理解を身につけ、授業を分析でき、授業理論を構築できる能力を身につける。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	中学校社会科の基本的事項を理解できる。																
目標2	中学校社会科の授業を分析・研究できる。																
目標3	中学校社会科の授業理論を構築できる。																
目標4	レジュメ、パワーポイントを作成し、プレゼンテーションができる。																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	イントロダクション：中学校社会科とは																
2	授業の基礎理論の研究1 - 授業理論研究																
3	授業の基礎理論の研究2 - 年間指導計画																
4	授業の基礎理論の研究3 - 学習指導案																
5	授業の基礎理論の研究4 - 教材研究法																
6	授業の基礎理論の研究5 - 学習過程																
7	授業の基礎理論の研究6 - 評価方法																
8	社会科授業の授業研究(1) - プレゼンテーション及び授業分析(単元計画の分析)																
9	社会科授業の授業研究(2) - プレゼンテーション及び授業分析(学習過程の分析)																
10	社会科授業の授業研究(3) - プレゼンテーション及び授業分析(授業評価の分析)																
11	社会科授業の理論構築(1) - プレゼンテーション及び理論構築(授業理論)																
12	社会科授業の理論構築(2) - プレゼンテーション及び理論構築(年間指導計画)																
13	社会科授業の理論構築(3) - プレゼンテーション及び理論構築(学習過程)																
14	社会科授業の理論構築(4) - プレゼンテーション及び理論構築(授業評価)																
15	総括(まとめ)																
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	社会科の授業の授業研究および理論研究ができ、結果についてプレゼンテーションができる。				工 夫 そ の 他 の											
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	授業研究及び理論研究、プレゼンテーションのための事前準備しておく。															
	事後 学修	プレゼンテーションに関する質疑応答について、事後分析をする。															
教科書	文部科学省『中学校学習指導要領』2017年 文部科学省『中学校学習指導要領解説社会編』2017年																
参考書	時事資料をその都度配布																
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10					
	授業分析、理論研究の結果評価	50%															
	プレゼンテーションの結果	50%															
注意事項	なし																
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。																
リンク	URL																